

様式第6号その1 (第5条関係)

2020年4月17日

(あて先) 三鷹市議会議員

会派名 三鷹民主緑風会  
代表者氏名 谷口敏也

### 令和元年度政務活動費実績報告書

令和元年5月10日付け三鷹市議第16号で交付決定を受けた政務活動費に係る収入、支出等に関する実績を、三鷹市議会政務活動費の交付に関する条例第6条の規定により、下記のとおり報告します。

#### 記

- 1 交付決定を受けた額 1,188,000 円
- 2 調査研究の成果及び収支決算書  
別紙のとおり



様式第6号その2（第5条関係）

調査研究の成果及び収支決算書

1 調査研究の成果

別紙のとおり

2 収支決算書

(1) 収入

項 目	金 額 (円)	説 明
1 政務活動費	1,188,000	27,000円×11カ月×4人
2 その他の収入		
計	1,188,000	

(2) 支出

項 目	金 額 (円)	説 明
1 研究研修費	3,960	セミナー参加費
2 調査旅費	185,030	会派視察に係る旅費、宿泊費
3 資料作成費		
4 資料購入費	31,902	雑誌議会人及びゼンリン地図購入費
5 広報費	641,988	会派活動レポート作成及び配布費用
6 広聴費		
7 事務費	193,458	印刷用カートリッジ購入費等
計	1,056,338	

差引額（収入－支出） 131,662（残額分 131,662円は市へ返還）

## 三鷹民主緑風会 令和元年度 調査研究の成果

### 《会派視察》

令和元年は、長崎県の長崎市と大村市で視察を行いました。詳細は別紙の視察報告書に記載しましたが、長崎市では「平和関連事業」についてと「まちぶらプロジェクト」について、大村市では「子ども未来館『おむらんど』」についてと「学校適応指導教室『あおば教室』」について、2市でそれぞれ2項目の事業について、視察を行いました。

三鷹市に於いて、現在「平和関連事業」については、戦争の記録を残す資料館的なものはありませんが、Web上に「みたかデジタル平和資料館」を開設しました。今後は市民の皆さまから寄贈された戦争に関する品物・遺品などをどのように保存し残していくのか、或いは戦争体験を知る人たちの証言をどの様に集め残していくのかが課題になっています。

「まちぶらプロジェクト」関連では、三鷹駅南口中央通り東地区の再開発に絡んだ、三鷹市のブランド力の向上や、みどりと水の回遊ルートを生かした街歩き等の再構築が課題となっています。

子育て関連事業では、「子ども家庭支援センター」が2か所、児童館改め「多世代交流センター」が2か所と、子どもの数が増えている割には、子ども・子育て施設が少なく、拡充が求められています。

小・中学生の不登校問題については、令和2年度から「学校適応支援教室『A-room』」がスタートします。

上記4事業に関して、いずれも先を進んでいる長崎市・大村市の取り組みを視察させて頂いたことを参考に、三鷹市の取り組みをさらに進めていけるよう、会派として今後の政策提言、各議員の一般質問、各委員会での議論、予算審査特別委員会での質疑などに生かしていきます。

### 《予算要望と政務活動に関わる取り組み》

令和2年度の予算編成会議に合わせ、会派として市内の各種団体とのヒアリングを行ったほか、朝の駅頭での演説や、各議員が地域で行っている市政報告を通して市民の皆さまから頂いた声をまとめて、三鷹民主緑風会としての予算要望書(政策提言)を、河村市長に提出しました。

また、その提言した政策を実現させるべく、各議員が市議会定例会での市政に関する一般質問や、予算・決算代表質疑を行い、会派の政策を訴えました。

今後も、市民の皆様からの声をしっかりと市政に反映させよう、4名が一致団結して活動していきます。